

第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

令和4年2月10日(木)

第6学年3組 29名

指導者：岩田 純一

1 単元名 「ボランティアマインドを伝えよう」

2 単元の目標

知識及び技能	○ボランティアについて調べたり、ボランティア活動に協働して取り組んだりする活動を通して、ボランティア活動をしている人々がいることやその人々の思いや願い、取組を理解できるようにする。
思考力,判断力,表現力等	○実際行われているボランティア活動の特徴を捉え、自分ができることはないかと考えることができるようにする。
学びに向かう力,人間性等	○社会のために自分ができる具体的なボランティアの取組を考え、主体的に行動することができるようにする。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①ボランティア活動のよさや課題点など、特徴について考えている。 ②ボランティア活動をする人々の目的、思い、願いを理解している。 ③多様な在り方を互いに認め合い、そのよさを生かして協働する人々がいることに気付いている。	①ボランティア活動に関わる思いや願いを考え、自分ができることを課題として設定することができる。 ②課題解決のために必要な適切な情報を集める方法を考えることができる。 ③集めた情報を様々な見方で考えることができる。 ④導いた結論を論理的に説明することができる。	①課題解決に向けて友達・家族・地域の人と協力し、よりよい活動ができるよう考え、継続的に活動を進めようとしている。 ②異なる意見を尊重し、自分の考えを見直そうとしている。 ③課題解決の過程を振り返り、社会貢献への意欲を高め、自らの生活に生かそうとしている。

4 研究主題に迫るための手だて

(1) 異学年との交流

児童は5年生からボランティア活動について学習を始め、ボランティアについて知る、実際に活動を行う、活動を振り返るという流れで学習を展開してきた。6年生になり、これまでの活動をまとめ、5年生に発表を行った。それを聞いた5年生はボランティア活動への意欲を高め、年間を通してボランティアとは何か、活動をしてどんな気付きがあるのかと中心に学習を進めてきた。そして学年の終わりに6年生に自分たちの活動の成果を報告した。6年生は、5年生での経験を基に、さらにボランティア活動を進めるとともに、5年生の学びをリードする役割も担ってきた。2学年で学びを共有しながら学習を展開することで、学校の中心としての自覚と、活動に対する誇りをもって学習できるように配慮した。

6年生→5年生へ	・ボランティアとは何か、自分たちの経験を引き継ぐ
考えを広げて課題を設定する	・高学年が中心となって、ボランティア活動について、知識を増やし、自分にできることを考え、ボランティア活動の計画を立てる。 ・すみだボランティアセンターの方々の話を聞く。
課題を解決する	・ボランティア活動に取り組む。 ・活動を通してやりがいや人々の思いに気付く。 ・活動体験を高学年で共有して振り返る。
5年生→6年生へ	・5年生の活動の成果を6年生が聞き、よさを認め合う。 ・自分たち（6年生）の活動につなげる。
つなぐ	・卒業を前に、自分たちのボランティアマインドを学校や下級生につなぐ。

(2) 活動体験の共有・振り返りの充実 ～自己肯定感と課題意識を育む～

児童はボランティアの活動体験から、友達や地域、家族と関わる楽しさ、他者に認められる喜びなどを実感できると考える。感じたこと・考えたことを振り返り、共有することで、その大切さを価値付けし、児童の自己肯定感を育てていく。

また、体験を通して課題意識をもつことが予想される。例えば、下級生のために学習プリントを作成した児童は、分かりにくい内容があったため、次はその点を改善して作ろうと考える。公園の清掃体験から、清掃した次の日にはゴミが捨ててあることに気付き、意識が身近なゴミ拾いから地域社会の問題へ発展するかもしれない。児童がもつ課題意識を、ボランティア活動を継続しようとする意欲や、他の学習との関連性につなげていくことを目指す。

(3) ボランティアマインドを引き継ぐ

卒業を前に、友達、家庭、地域と幅広く活動してきた成果を、業平小学校に視点を移し、学校のために、下級生のために何ができるのか考える。ボランティア活動を通して、自分も相手も笑顔になったり、気持ちが晴れ晴れとしたりした経験を、ボランティアマインドとして残して卒業していくことを目指す。本来、児童の自発的な思いを活動につなげることが理想であるが、単元のまとめは「卒業」という節目を意識して、業平小学校の中で活動するという設定している。以下、児童から出たボランティア活動のアイデアである。

手洗いポスター作成	1年生のため遊びの本や動画	体育館の清掃	体育用具の整理
絵本作り	マンガづくり	なりっこ池の掃除	せっけんづくり
屋上遊び案	カレンダーづくり		

5 単元計画・評価計画

時	学習活動	評価規準		
		知・技	思・判・表	態度
1 ・ 2 ・ 3	<p>1 昨年度学んだボランティアマインド（活動）を5年生に引き継ぐ。</p> <p>○5年生に自分たちが体験したことや、学んだことを伝えるためのプレゼンテーションを作成する。</p> <p>・ボランティアとは何か どんな活動ができるのか など</p> <p>○学級内でプレゼンテーションを発表し合い、加筆修正する。</p> <p>○5年生に向けて発表する。（→5年生のボランティア学習スタート）</p>	① ②	① ②	① ②
4 ・ 5	<p>2 今年度、自分（たち）が行えるボランティア活動について考え、これまで同様に活動を実践していく。</p> <p>○幅広くボランティア活動について調べる。</p> <p>・活動例 ・活動する方々の思い ・人との交流</p> <p>○ボランティア活動を実践する。</p> <p>・活動してみて感じたこと、学んだこと</p> <p>○ボランティア活動をしたことを友達と交流したり、振り返ったり、次の計画を立てたりする。（できることを継続していく）</p>	② ③	③	②
6 ・ 7 ・ 8	<p>3 業平小学校のためにできるボランティア活動を計画する。</p> <p>○卒業を前に自分たちが学校や在校生のためにできることを考える。</p> <p>例) 清掃活動・挨拶活動・遊び伝承活動・学習活動 など</p> <p>○どのような活動をして、伝えていくのかグループで計画を立てる。</p> <p>○立てた計画をグループ内や他のグループ同士（クラス同士）で交流して、活動する次時に向けた準備をする。</p> <p>・伝える相手（校内の1～5年生）を意識した活動の仕方を工夫する。</p>	① ③	② ③	①
9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	<p>4 業平小学校のためのボランティア活動を実践、継承していく。</p> <p>○グループごとに学校・1～5年生への活動を実践、継承する。</p> <p>※児童が考えるボランティア活動の内容によって、授業時間で確保する時数は増減する。</p> <p>※ボランティア活動の内容によって、授業時間以外に実施する。</p> <p>○5年生から1年間のボランティア活動の報告をもらい、自分たちの活動につなげていく。</p>	②	③	①
13 本 時	<p>5 自分たちのボランティア活動を振り返る。</p> <p>○実践した活動を振り返り、「よかったこと」、「こまったこと」、「よりよくするには」の3つの視点で話し合う。</p>		③	③
14	<p>6 ボランティア活動の継続、振り返りを行っていく。</p> <p>○卒業まで活動を継続する。（振り返り、新たな活動の計画を立てる時間を授業時間として確保する。）</p> <p>○自分たちの活動を下級生たちが引き継いでもらえるように、授業時間にかかわらず、自分たちで活動を進めていくことを目指す。</p>	③	④	

6 本時の指導(13/14)

○本時のねらい

- ・活動を振り返り、集めた情報を様々な見方で考えることができる。
- ・課題解決の過程を振り返り、社会貢献への意欲を高め、自らの生活に生かそうとしている。

○本時の展開

学習内容	○指導上の留意点 ☆評価 【評価方法】
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">自分たちのボランティア活動を振り返ろう。</div>	
<p>1 前時までの活動の振り返りをする。(写真・動画共有)</p> <p>○それぞれの活動の様子を写真や動画に残しておき、自分たちの活動を学級全体で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子を聞き、よかった点、改善点、疑問点などを書いて、ロイロノートで相手に送る。 <p>C: 下級生が喜んでくれてうれしかった。 C: 自分たちが伝えたいことは伝えられた。 C: もっといいに活動した方がよかったかもしれない。 C: もっとできることがあった。</p> <p>2 本時の学習への見通しをもつ。</p> <p>T: 学校の先生方もたくさん褒めてくれましたよ。 T: うまくいったことや、もう少し修正できそうなことを話し合っ て、みなさんの活動がよりよくなるようにしましょう。</p>	<p>○活動の様子を映像で共有することで、互いの活動の成果や課題を共有できやすくする。 (ロイロノートの活用)</p> <p>○活動の課題点だけでなく、成果を認め合うことを大切にする。</p> <p>○ボランティア活動が学校全体により効果を生んでいることを確認し、活動の振り返りや次の活動への意欲につなげる。</p>
<p>3 グループで交流する。</p> <p>○友達からもらった意見も取り入れて、自分たちの活動を「よかったこと」、「こまったこと」、「よりよくするには」の3つの視点で振り返る。</p> <p>T: グループでうまくいったこと、もう少しだったことを出し合い、感想や意見を整理しよう。</p> <p><よかったこと></p> <p>C: 低学年だから、簡単な言葉で伝えられてよかった。 <こまったこと></p> <p>C: 準備の時に先生に迷惑をかけてしまった。 C: 活動時間が短くて、最後までできなかった。 <よりよくするには></p> <p>C: 今度は違う学年に向けてできることを考えよう C: アンケートをとって、もっとこうしてほしいというアイデアをもらおう。</p>	<p>○Yチャートと付せんを使ったグルーピングを行い、視覚的に成果と課題を捉えやすくする。</p> <p>○児童のアイディアはできる限り尊重するとともに、金銭的なこと、物理的、時間的に難しいアイディアは調整する。</p> <p>☆活動を振り返り、集めた情報を様々な見方で考えることができている。【観察・ワークシート】</p>
<p>4 まとめる</p> <p>T: 次はさらにより活動になりそうですね！今回の活動を生かした計画を立てられるよう、今日の話し合いをまとめておきましょう。</p> <p>C: 今日の振り返りを生かして、次はもっと楽しんでもらえるようなボランティアを考えよう。</p>	<p>☆課題解決の過程を振り返り、社会貢献への意欲を高め、自らの生活に生かそうとしているか。【ワークシート】</p>